

# 吉田 みのるの MY 通信

Minoru Yoshida



発行

吉田みのる後援会

春日部市西宝珠花 52

048-748-1060

2022年3月発行

第5号

## 3月議会特集号

少しずつ暖かくなり、春の足音が近づいてきたと感じます。  
お花見はまだ難しい状況ですが、引き続きコロナの感染対策を  
宜しくお願い致します。

「子どもたちが誇れる春日部に」を実現するために、  
全力で取組んでいきます!!

- ◇総務委委員会 副委員長
- ◆議会改革検討特別委員会 委員
- ◇江戸川水防事務組合議会 議員
- ◆前進かすかべ。未来の会 事務局長
- ◇春日部市「庄和大風文化保存会」 顧問
- ◆西宝珠花区 理事
- ◇防災士

R4年度の予算額は808億3,000万円(過去最大規模) R3年より42億8,000万円の増

→ コロナ感染症対策・新庁舎建設の予算・春日部駅の高架化などの大型事業に取り組むため。

○市税収入は28億3,367万円  
(R3年より11億1,567万円の増)

○基金残高(市の貯金)は65億8,000万円  
(R3年より60億円の減)

○地方交付税は92億円  
(R3年より7億円の増)

○市債残高(市の借金)は682億1,000万円  
(R3年より4億5,400万円の減)

### 主な新規・拡充の事業のご紹介

- 介護施設PCR検査費用補助事業(150万円)  
→ 介護施設でのコロナ拡大防止を目的として、PCR検査費用の補助を行う。
- 子ども家庭総合支援拠点運営事業(21.9万円)  
→ 子育て家庭と妊産婦に、保健師などの専門職が相談対応や、訪問などによる継続的な支援を行う。
- 小学校情報教育推進事業(3.81億円)  
中学校情報教育推進事業(1.75億円)  
→ タブレット端末に学習支援ソフトを導入し、更なる学校教育の充実に取り組む。
- 長寿記念事業(4,300万円)  
→ 節目(88歳、100歳、105歳、110歳)の年の方へ、誕生日の翌月に長寿祝金を贈呈する。
- 商店街元気あっぷ事業(250万円)  
→ 商店街のにぎわいを創出するため、商店街が実施するアイデアにあふれた事業に対し、補助を行う。
- 水田収益力強化事業(200万円)  
→ 田んぼの収益力強化と農地の有効活用を目指し、米粉用米の作付けを推進し、米粉活用の実証実験を行う。
- コミュニティバス運行事業(9,300万円)  
→ 庄和北部で「タクシー車両活用事業」の実証実験と、  
春バスの豊春ルートで「路線バス乗り継ぎ割引」の実施。

## 3月議会で取組んだ一般質問について (一部抜粋)

### 「財政の一助になるかもしれないLED照明化について」

○市内の街路灯1万3,387本をLED街路灯へ変更をした結果、電気料と修繕料と賃借料を含めて年間約1,400万円のコスト縮減となっている。市内小中学校の蛍光灯は調査の結果、何本あったのか。

→ 蛍光灯器具の数は約2.7万/交換済みは約3,200  
残りは約2.4万弱ある。

改修計画を進めていくうえで、先進市の事例などを情報収集中。

○1つの器具に蛍光灯は1本か2本ある。つまり約2.4万本以上の蛍光灯がある事になり、LED街路灯と同じようにコスト縮減が期待できるが、判断はいつを期限として考えているのか。

→ できる限り早い段階で様々な条件を見極めながら、工事かリースの事業手法を検討する。

○庄和総合支所はR4にLED照明化するが、どれくらいのコスト縮減になるのか。

→ 指標を基に計算すると、年間218万9,200円の費用が削減できる。

要望：①LED照明の交換工事について、仕様書に「市内業者の活用」を記載し地元企業の育成へと繋げてほしい。

②LED照明化することで、電気代を削減できるのは承知の通り。一日も早い導入を。



### 「旧宝珠花小学校の跡地活用について」

○市長の令和4年度の施政方針に、「旧宝珠花小学校の跡地活用を促進するために、改修工事に向けた法令手続きを進めてまいります」とあるが、どのような法令手続きとなるのか。

→ 「学校」から「交流等の施設」として用途を変更。  
都市計画法や建築基準法などについて確認する。

○どのような施設構成や配置を考えているのか。

→ 1階と体育館を「地域コミュニティ活動の場」  
2階を「大風あげ祭りや郷土の歴史・文化遺産の資料等を展示」  
3階を「貴重な歴史資料を保存管理し未来に引き継ぐ場」

○使用開始ができるのは、いつ頃になるのか。

→ できる限り早期に使用開始ができるよう関係部署との連携を密に、基本計画に基づき着実に推進。

要望：①一日も早い使用開始を。

②庄和北部の新たな活性化が期待できる施設として、引続き住民の意見に耳を傾け柔軟に対応してほしい。



## 今後の活動について

4年前に初当選してから「子どもたちが誇れる春日部」にするために、“誰かがやってくれる”ではなく、“自分がやるんだ”という気概を持ち、地域の皆さんの声を市に届け、納得いかない時には大きな声で苦言を呈しながら、様々な活動に取り組んできました。祖父の山口宏初代春日部市長が地域の皆さんから頂いたご恩を、吉田みのるが地域の皆さんへ恩返しではなく恩送りをし、これからも地域の皆さんが「春日部に住み続けたい！」と思って頂けるように、活動してまいります。引き続きの力強いご支援を、宜しくお願い致します。